

新緑の候 宮崎県防衛協会宮崎支部会員の皆様には、益々ご清福の段、大慶に存じます。

日頃より皆様には当支部運営に際して格段のご高配を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

先月八日は高等工科大学六十一期生徒三百二十七名の入校式が、横須賀の武山駐屯地に於いて盛大な中にも厳かに挙行されました。

生徒が大きな声で「宣誓」を唱和し、各々自分の名前を発声する時にいつものことでは有りますが、何故か目頭が熱くなります。

五十六期生徒から新制度へ移行し丸五年、自衛官としての「宣誓」では有りませんが、内容はほぼ同じで生徒達の心意気が伝わってきます。

僅か一週間前はただの中学三年生だった子供達が、立派な自衛官の卵に見えてくるから、自衛隊生徒教育は本当に不思議です。

この生徒達が四年後には陸上自衛隊最年少の三等陸曹となり、部隊の中核として活躍する様を想像するとき、誠に心強く頼もしく感じます。

また同二十六日は宮崎県自衛隊父兄会宮崎支部総会がJ A A Z Mにて開催され議長を務めました。やはり身内が現役自衛官として勤務している分だけ、熱心に議論に参加されているようです。

菊田地本部長の航空自衛隊に於ける新隊員教育の講話も、今年入隊した新隊員のご両親は興味深げに傾聴し、間もなく始まるGWに初帰省するはずの我が子との再会を、楽しみにしている様子でした。

さて安倍首相がGW期間中に訪米し、日本の首相として初めて上下院で演説をされるとの事でしたが、戦後七十周年の軌をどのように解き放たれるのか、誠に興味深く且つ楽しみます。

安倍首相が日本の代表として祖国の名誉や国益を守る為に、国際社会で堂々と発言して頂くには我々国民一人一人の強い支持が必要であり、その前提としての憲法改正講演会を五月四日、花山手の市民文化ホールで開催致しますので、皆様挙ってご参加下さい。

平成二十七年五月一日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小倉 和彦